



Press-release/E-flashから

『ITUジャーナル』編集部

E-flash

① 11月2日：ITU-T eフラッシュ

(出典：<http://www.itu.int/ITU-T/e-flash/033-nov07.html>)

・ ITU-T勧告のダウンロード完全無料化 Free access for all to ITU-T standards

ITU-Tの勧告のダウンロードが完全に無料となった。ちなみに、2007年1月から9月まで実施された同サービスのトライアルでは、ITU-T勧告が200万件ダウンロードされた。

・ ネットワークカーⅢ The Fully Networked Car Ⅲ

ITU, ISO及びIECの自動車のICT化に関するイベントへの論文抄録が募集された。ちなみに、2008年のイベントは、ICT及び天候の変化に焦点が当てられる。

・ シスコ、NGNの論文を表彰 Prize fund announced for NGN event

2008年5月に開催されるイベント「NGNの革新」(Innovations in Next Generation Networks)用に提出された論文のうち3論文がシスコ社から表彰され、総額10,000ドルの賞金が与えられた。

・ IdMの作業が新しいフェーズへ Identity work enters new phase

SG17は、FG-IdM (The Focus Group on Identity Management)の成果を受けて、TSAGに対し、IdM-GSIを設立する旨を勧告した。本年12月のTSAG会合で承認されれば、新しいフェーズとして、IdM-GSI及び関連JCA会合が開催される。

・ ITU-TとIETFは、T-MPLSで合意 T-MPLS Agreement: ITU-T and IETF

ITU-TとIETF (Internet Engineering Task Force)の専門家は、T-MPLS (Transport-MPLS)の標準化作業を合同で行うことに合意した。

・ ルワンダ政府主催のフォーラムで、標準化の重要性を強調

Importance of standards for developing world highlighted at Rwanda event

10月2日から4日まで、ルワンダのキガリ (Kigali)において、ITUのフォーラム「Forum on Bridging the ICT standardization and development gap between developed and developing countries」が開催された。本フォーラムは、ルワンダ政府がホストしたもので、38か国から160人が参加した。経済的にインフラを構築したり、効果的に自国経済を発展させていくためには標準化が不可欠であり、標準化の重要性とその人材育成が重要であることが確認された。

・ CALM報告発行される

CALM report. First in a series

新しいITU-TのCALM (Continuous Air-interface, Long and Medium range) 報告が発行された。今回は技術的な動向を中心に、ITU-Tの新しい標準化領域としての将来の可能性や途上国への適応性などを評価している。

・ 車通信、広帯域化へ

In vehicle comms work moves to wideband

ITU-Tの車の通信 (Car communication)に関する仕様作成作業が、広帯域化に向けて、その要求条件及び試験方法の開発等へ拡大している。

・ リオデジャネイロでアクセシビリティに関するワークショップを開催

Making accessibility a reality in emerging technologies

ITUは11月13日にリオデジャネイロにおいて開催された「Internet Government Forum」の第2回会合において、「Making accessibility a reality in emerging technologies」というワークショップを開催し、世界中にあるアクセス要求を実現するための方策を検討した。